

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネクストエール立川上砂教室			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 15日 ~ 2025年 5月 14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	2025年 4月 15日 ~ 2025年 5月 2日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1日の利用人数が1~4人の為、少人数での療育という事で個別療育をしっかり行える。	個別課題など一人一人に合ったカリキュラムを作るよう心掛けている。	職員一同、子ども一人一人の課題や成長を共有し、次のステップに繋げていけるようにする。
2	教室と家庭との連携が取れている。	当日のフィードバックを丁寧にお伝えし、家庭での様子もお伺いしている。	保護者の方になかなかお会いできないご家庭は今後はメールや電話、面談などでその子について詳しくお話を聞いてみたい。
3	月のプログラムをバランスよく入れる事で5領域を含めた療育ができている。	プログラム会議を行い、職員たちの声をすぐに反映できるよう風通しの良い会議にしている。	室外活動がまだ散歩や公園遊びのみなので、今後は他の場所にも目を向けて活動に取り入れていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の場が持てていない。	教室に慣れ、職員との信頼関係の構築が大きな目標だったこともあり、地域に出て他の子どもとの交流ができていなかった。	児童館などの催し物に参加して、地域交流を進めていきたい。
2	少人数の療育になり集団療育が日によっては難しい日がある。	まだ、児童発達支援の利用の人数が放課後等デイサービスの利用人数との兼ね合いで多く取れていらない。	長期休みなど放課後等デイサービスの児童がいる時に縦割りで一緒に取り組めるものを企画し、集団療育に繋げていきたい。
3	保護者会が開けていないので、保護者間の交流ができていない。	児童発達支援は令和7年1月にスタートした為、保護者会を設ける事がまだできておらず、交流の場が持てていない。	定期的に保護者会を開くことを保護者の方にも伝えていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		保護者等からの事業所評価の集計結果						
		公表日 令和 7 年 6 月 25 日						
		利用児童数 2025年 5月 17日 11名 回収数 7						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	0	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	1	職員の人数が多く適切というより多くてありがたいと感じている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	0	0	日当たりが良く明るい雰囲気のが良い。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	0	家庭だけではどうしたら良いかわからないので専門的な支援が助かっている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0	目標に向けて具体的に取り組んでいてありがとうございます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	0	新しいことをしたり楽しんだことを繰り返したりバランスが工夫されている。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	1	4		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		
保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	0	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	0	0	0	出来た事、苦戦したこと等共有できる。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	2	3		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0	連絡帳の内容が細かく活動の様子がわかりやすい。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	0	0	インスタで活動内容や使った道具が見られてうれしい。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0	安心してのびのび過ごせている。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	0	食事や着替え、手先の使い方など目に見えて成長を感じる。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0	もう少し時間が長くなると嬉しい。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ネクストエール立川上砂教室					公表日 令和 7 年 6 月 25 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	カラーテープやパーテーションを使って仕切っている		児発と放ディが一緒に時に集団療育の際に区分けができず室外活動等、物理的に別々の場所で療育を行うことが多くある	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	特性に応じて人員配置されている 療育現場の職員配置は不足していない		その日のシフトによっては有資格者や運転手の職員不足の問題はある。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	カラーテープを床に貼り視覚的な要素を取り入れわかりやすい環境を整えている。 視覚障碍者に対しては動線になるルートを布ガムテープを貼ったり、止まるところではクッションをテープに入れたりして足の感覚で分かるようにしている。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	療育後に使用した玩具については消毒を行っている。			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	相談室をクールダウンの部屋として、児童が落ち着かない時に落ち着ける場としている。			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	活動内容の企画書など職員の業務分担を決め目標設定を行っている。		共有事項など記録に残している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	保護者の方の意見を真摯に受け止め、ニーズに沿った改善策を提案し業務改良をしている。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員が話しやすい環境作りを意識し、その中で日々職員が思っている意見を尊重し改善へ繋げている。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	第3者による児童のモニタリングの際に、教室に対する外部評価の意見をいただき改善へ繋げている。			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	定期的に研修案内が来るものに関してはその都度参加者を確認し申請を行っている。また、会社内での研修も定期的に行っている。			
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	毎月、月のプログラム表を作成し、5領域を含む内容を保護者に公表している。			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	長期・短期の目標設定を保護者とヒヤリングを行い支援計画書の作成や課題、ニーズに沿って支援を行っている。			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	支援計画を作製するにあたって、他の職員には予め利用者の課題や目標を共有し適切な療育作りを行っている。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	作成後も職員に共有し、計画や目標に沿った支援を行っている。			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	アセスメントシートや個人シート等、子どもの適応行動の状況把握や日々の行動観察を日々職員と確認し共有を行い支援を行っている。			
適切な支援の提	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインに沿った設定と適切な内容を設定し具体的に作成を行っている。			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	毎月、最低4名以上でプログラムの立案や適切なカリキュラムの作成を行っている。			

供 給	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	季節行事や利用者のニーズを第一に考えて毎月様々なプログラム内容の構成を行っている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	その日の利用人数に合わせ、個別課題と集団療育をのどちらを重点的に行うか考えている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝のミーティングを行い、動きの確認や児童についての共有を行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	支援終了後は退勤時間が各自違うこともあり、揃うのが難しいので、翌日のミーティングで伝達事項を共有している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	職員と分担して利用者の支援記録に様子を記録。職員全員に共有し改善に繋げている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	支援記録を参考にモニタリングを行い見直しや児童に合った適切な支援内容に更新している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2		会議が行われていない。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		医療ケアの連携が取れていない。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		保育園の送迎児のみ共有ができるが、他の児童に関しては共有の場が持てていない。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		該当児がないため行われていない。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0	支援センターと連携を取り、適切な支援を行えるように心がけている。 作業療法士が週二回勤務し専門的な助言を受けて支援を行っている。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		地域交流の場が少ない
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	情報共有以外にも個別支援計画をもとに課題や状況について情報共有し保護者の方に理解を持いただいている。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6		研修の機会を提供できる取り組みが行われていない。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	保護者の方にはご理解いただけるようわかりやすく説明させていただいている。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	保護者・本人主体と考えそれをもとに個別支援計画を作成している。	

保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	支援計画の内容の確認後は保護者の方と面談し、同意していただけている。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者の方から相談があった時には、日程を決めて面談を行い必要な助言と支援を行っている。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	年に1度保護者会を行っている。	保護者会を開催していないので、交流の機会は少ない。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	要望があった場合は迅速に対応している。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	日々のインスタやホームページで情報を発信している。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	利用者についての情報や保護者についての個人情報は常に気を付けて管理している。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	情報伝達の為、常に利用者や保護者に対して配慮し、適切な対応を行っている。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		地域に開かれた活動はできていない。
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	月に一度訓練やマニュアルの確認を行っている	
非常時等の対応	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	月に1度プログラムに取り入れ行っている。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	会社のマニュアルに沿って対応の確認を行っている。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	事前にアレルギー表を明記していただき、アレルギー該当時間に関しては食事提供の場を分けている。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	会社のマニュアルを参考にメンテナンスを行い、安全管理を行っている。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	事前に緊急連絡先や保護者との連携を迅速に取れるよう保護者の方にも周知している。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	職員間で再発防止について話し、情報共有をしている。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	社内研修や会社のマニュアルを通して日々の児童に対する対応やリフレーミング等適切な療育を心掛けている。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	身体拘束を行う対象児童はないが、必要となつた時には保護者と事前にヒヤリングを行い支援を行う。	